

## マイクロディベート

身近な論題を用いて簡単なディベートに取り組み、傾聴力・論理的思考力・客観的分析力・表現力を養う。

自己表現能力	自分の考えや意見を論理的・効果的に説明できる。
他者理解能力	他者の意思等を的確に理解できる。

### 授業のポイント

社会に出て議論をするときに、自分の意見が十分に相手に伝わり納得してもらうことが必要である。この授業はディベートを通して、自分の意見を主張していく力、自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解する力を養うことをねらいとしている。

ディベートとはあるルールに従い、対抗する2組が論題の肯定派と否定派に分かれて、自分たちの議論の優位性を聞き手に理解してもらうように、客観的な証拠資料に基づいて議論をするコミュニケーション形態である。相手との議論を通して説得性を競う。ディベートはふつう1時間近くで協議を行うが、これを簡単に短時間でできるようにしたものがマイクロディベートである。

指導に際しては、ディベートの内容とその必要性について理解させることがまず重要である。また意見を述べる時には、人に十分に伝わるように述べるのが困難だが重要であることを理解させたい。

### 《実践上の留意点》

- (1) マイクロディベートであるので、きちんとした立論・質疑・反ばくなどの形態をとらずに発言という形にする。また、フリートークは発言の順番はこだわらないが、一方だけが発言することの無いように注意しておく。
- (2) あくまで競技であるので、本人の元々の考えである肯定・否定には関係のないことを伝えておく。授業が終わったならば、ディベートの役割を解いておくことも必要である。
- (3) 感想を共有し合い、今後の学校生活に生かす視点をもたせるようにする。

準備物 ワークシート1・2  
ストップウォッチ  
呼び鈴

学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点と評価
課題の意識化 (10)	<p>1 本時の活動のねらい学習方法を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>マイクロディベートを通して、自分の意見を論理的・効果的に伝える力や、相手の考えを的確に理解する力を養う。</p> </div>	<p>マイクロディベートの要点を説明する。</p>
課題の追求・解決 (35)	<p>2 どんな論題で行うか確認する。</p> <p>3 準備をする</p> <p>(1) 3人一組のグループをつくる。</p> <p>(2) 論題を3つ選び、それぞれの論題での肯定者・否定者・審判を決める。</p> <p>(3) ワークシート2 - を書く</p> <p>4 第1回戦を行う。時間の経過は審判がタイムキーパを兼ねる。</p> <p>肯定派発言3分</p> <p>否定派発言3分</p> <p>フリートーク3分</p> <p>判定・まとめ3分</p> <p>5 論題と役割を変えて、2回戦を行う。</p> <p>6 論題と役割を変えて、3回戦を行う。</p> <p>7 ディベートを終えた感想を発表する。</p> <p>主張することは難しい。</p> <p>相手を理解することは難しい。</p> <p>相手を納得させるには時間が足りなかった。</p>	<p>難しい命題だけではなく、誰でも話せそうなものを多数上げて板書してもよい。</p> <p>場合によっては論題を1つだけ選び、役割を変えて繰り返しやってよい。</p> <p>きちんとした立論・質疑・反駁などの形態をとらずに発言という形にする。また、フリートークは発言の順番はこだわらないが、一方だけが発言することの無いように注意しておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>表</b>自分の考えや意見を論理的・効果的に説明する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>他</b>他者の意思等を的確に理解する。</p> </div> <p>感想を共有し合い、今後の学校生活に生かす視点をもたせるようにする。</p>
総括 (5)	<p>8 本時のまとめをする。</p>	<p>生徒を席に戻して、静かな雰囲気をつくる。</p>

\* **表**：自己表現能力      **人**：人間関係形成能力

## マイクロディベート

## ワークシート1

番号 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

マイクロディベートとは？

ディベートとはあるルールに従い、対抗する2組が論題の肯定派と否定派に分かれて、自分たちの議論の優位性を聞き手に理解してもらうように、客観的な証拠資料に基づいて議論をするコミュニケーション形態です。相手との議論を通して説得性を競います。ディベートはふつう1時間近くで競技を行います。これを簡単に短時間でできるようにしたものがマイクロディベートです。

ディベートのルールには、「公平性の原理」があり、肯定・否定のメンバーが同数であることや両チームの持ち時間が均等であることなどが上げられます。今回は、以下の時間で行います。

肯定派主張	3分
否定派主張	3分
フリートーク	3分
判定・まとめ	3分

ディベートで話し合うにはテーマが必要であり、そのテーマを「論題」といいます。論題は必ず「AはBである。」といったような命題の形になっています。ディベートの論題には相反する側（肯定と否定の立場）に分ける役目があります。この2つの立場によって議論をすすめていきます。今回の論題は以下の6つです。

- 1・サマータイム制を導入すべきである。
- 2・幼稚園に英語教育を導入すべきである。
- 3・ゴミの収集を全て有料化にするべきである。
- 4・企業は全て年俸制を導入すべきである。
- 5・校内では炭酸飲料を販売すべきでない。
- 6・携帯電話は学校で禁止すべきである。

### 論題と役割

この時間でマイクロディベートを3回行います。上の6つの論題から3つを選び、肯定派・否定派・審判の役割の分担を決めて下さい。1回ごと必ず違った役割を分担して下さい。

	論題	肯定派	否定派	審判
1回戦				
2回戦				
3回戦				

ディベートを終えての感想などを書こう。

マイクロディベート

ワークシート2

番号 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

論題

肯定派 ( )		否定派 ( )	
肯定派の主張をまとめよう		否定派の主張をまとめよう	
否定派に質問したいこと		肯定派に質問したいこと	
審判 ( )			
話し方	1・2・3・4・5	話し方	1・2・3・4・5
論理性	1・2・3・4・5	論理性	1・2・3・4・5
説得力	1・2・3・4・5	説得力	1・2・3・4・5
計	/ 15	計	/ 15
審判者の一言			

\* 自分の役割以外のところは，対戦中のメモ等に使うこと。

## 人間関係づくりの基礎技法

人間関係づくりの心掛けについて考え、友人との関係づくりに役立てホームルームや学校の生活への適応を図る。

人間関係形成能力	相手との話し方を考える活動を通して、自分も相手も大切にできる関係づくりについて考えられるようにする。
自己表現能力	相手を傷つけずに、しかも自分の気持ちをしっかり伝える方法を考えられるようにする。

### 授業のポイント

この授業は、高等学校に入学して間もない頃に行われる授業である。まだ、クラスの中でも人間関係が深まっていない時期で、生徒は多少なりとも不安を抱えている。そのような中で、望ましい人間関係をつくるには、相手と自分を尊重する心掛けが必要である。この活動では、グループでの話し合いやロールプレイを通して、人間関係づくりの基礎技法について考え、この心掛けに気付き、今後の実生活の中での人間関係づくりに生かすという視点をもたせたい。

#### 《実践上の留意点》

- (1) グループの話し合いの中で、自分と違う考えや、普段の友達関係の中で気付かなかったことなどがあることを感じさせたい。
- (2) ロールプレイを通して、言い方一つでも感じ方が変わってくることを実感させたい。
- (3) 全体の発表の中で、相手を尊重した言い方があることと、自分も尊重した言い方があることを気付けるように助言する。
- (4) 人間関係づくりの基礎技法とは、まず相手と自分を尊重することを心掛けることであることに気が付けるように助言する。
- (5) 今日の学習で感じたことを、自分のこれからの生活に、生かすことこそが重要であることを伝える。また、その実践はみんなの課題であることを伝える。

自分で考えて、自分で行動するという生徒自身の実践という投げ掛けをしていくことが必要と考えられる。

- (6) 自分も相手も大切にできる関係づくりが、実践できているかについて、今後の活動の中で、伝えていく。

準備物 ワークシート

学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点と評価
課題の意識化(5)	<p>1 本時の活動のねらい学習方法を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">人間関係づくりの基礎技法について考える。</div>	<p>「受け答えの仕方から，他人とのかかわり方・人間関係づくりの基礎技法について考えよう。」</p>
課題の追求・解決(35)	<p>2 A君からの相談について考える。</p> <p>(1) ワークシートのA君からの相談を読む。</p> <p>(2) 自分がA君だったらどのように話すか，そのポイントを考える。</p> <p>(3) グループをつくり，考えを出し合う。</p> <p>3 ロールプレイから感じたことをまとめる。</p> <p>(1) 代表者はA君，B君役を演じる。他の生徒はロールプレイを見て，どんなことを感じたかまとめる。</p> <p>(2) 考えを発表する。</p>	<p>例を示すと，生徒は考えやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容をはっきり言う。</li> <li>・やさしく話しかける。 など</li> </ul> <p>6人程度のグループに分ける。</p> <p>グループの代表に，前に出てロールプレイをするよう指示する。</p> <p>言葉の強弱も考えて役を演じるように伝える。どう言われた方が，素直に「悪かった」と思え，自分自身もしっかりと伝えることができるのか考えさせるようにする。</p> <p>発表をもとに，人間関係づくりの基礎技法で重要なことは，自分も相手も尊重する心掛けがけであることを感じ取れるように支援する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>人</b>自分も相手も大切にするという考えを持てるか。《記述・発表》</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>表</b>相手を傷つけずに，しかも自分の気持ちを伝える方法を考えられる。《記述》</p> </div>
総括(10)	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 先生の話聞く。</p> <p>(2) 感想を書く。</p>	<p>生徒を席に戻して，静かに自己を見つめ直す雰囲気をつくる。</p> <p>今日の学習で感じたことを，自分のこれからの生活に，生かすことこそが，重要であることを伝える。また，その実践はみんなの課題であることを伝える。</p> <p>自分も相手も大切にできる関係づくりが，実践できているかについて，今後の活動の中で，伝えていく。</p>

\* **人**: 人間関係形成能力 **表**: 自己表現能力

# 人間関係の基礎技法

ワークシート

番号 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

## 1 中学生の後輩 A 君からの相談

隣町で用事があり電車に乗ったら、その電車にたまたま友人（B 君）が乗っているのが分った。友人は、自分が乗ってきたことをまだ気付いていないようで、携帯電話で大きな声で電話をしていた。車内の周りの乗客は、迷惑そうな顔をしていた。その後も何度か一緒に電車に乗る機会があり、その度に大きな声で電話をしていた。一緒にいてもあまりいい気持ちがしない。車内での携帯電話をやめさせたいと思うが、その友人にどのように話したらよいだろうか。

## 2 あなたが A 君だったら、B 君にどのように話すか、そのポイントを箇条書きし、グループで意見交換しよう。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

## 3 A 君と B 君の会話の内容をロールプレイ（役割演技）してもらいます。それを見てどのように感じましたか。また人間関係づくりについて何が大切だと思いますか。

## 4 今日の授業の感想

## 「価値観」て何？

「価値観」の形成について学習し、他者の価値観について理解を深められるようにする。また、自己理解を進める上で、他者の価値観に触れる重要性について理解できるようにする。

他者理解能力	他者の価値観について理解を深める。自己理解を進める上での、他者の価値観に触れる重要性について理解する。
自己理解能力	選択や生き方・在り方の基準となる自分なりの価値観について考えを深める。

### 授業のポイント

この授業は、第1学年の前期に行われるものである。価値観と価値観の形成について考えることを通して、他者の価値観について理解を深めたり、他者理解の重要性について理解を深めたりしていく授業である。「価値観」は物事に対して下す価値判断であり、物事を決めるときの自分の基準や尺度となる。そのためこの価値観は自分の現在の行動に大きな影響を及ぼし、今後の生き方・在り方を大きく左右するものでもある。しっかりと高めた価値観を形成していくことは、今後の進路の選択や社会生活にとって重要なこととなる。

価値観を高めるためには、自己理解を深めていくなど、様々な方法があるが、その中でも他者理解の深まりに着目した。価値観は今までの生活の中で、周囲や社会とのかかわり合いで形成されていく。そのような経験を積んで、どのくらい他者の価値観に触れてきたかによって、価値観の高まりも違ってくる。この授業を通して、生徒が他者の価値観に触れことを意識できるようにしながら、今後の生活を通してさらにしっかりとしたものにしていけるようにさせたい。

### 《実践上の留意点》

授業を進める中で、価値観について以下のことをとらえさせたい。

- (1) 価値判断の基準には個人によって違うこと（7つの語句の順位付けとその理由を話し合う中で、とらえさせたい）。
- (2) 価値観は物事に対して下す価値判断であり、物事を決めるときの自分の基準や尺度となること。
- (3) 価値観は自分の現在の行動に大きな影響を及ぼし、今後の生き方・在り方を、大きく左右するものでもあること。
- (4) 価値観は今までの生活で、周囲や社会とのかかわり合いの経験の中で形成されていくこと。
- (5) 個人により、今までの経験が異なるので、価値観も個人により異なること。
- (6) 進路の選択や社会生活にとって、価値観をしっかりと高めていく必要があること。
- (7) 思い込みや強い思い入れなどによって、価値観が高まっていない場合もあること。
- (8) 価値観は今後の生活の経験によって変化していくこと。
- (9) 他者の価値観に触れる経験を多くするなどして、自己の価値観を高める必要があること。

価値観をすぐに高めていくことは難しいが、生徒が高める必要性と他者の価値観に触れる重要性を意識できるようにし、今後の生活の中で他者の価値観を知り、それを尊重しながら自己の価値観と対比させ、自己の価値観を高めていけるようにしたい。

準備物      ワークシート



学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点と評価
課題の意識化 (15)	<p>1 本時の学習の進め方について理解する。</p> <p>価値観の形成や他者の価値観について、理解を深める。</p> <p>2 価値判断をする。</p> <p>(1) キーワードの順位付けを行う。</p> <p>(2) 順位付けた理由を考える。</p> <p>(3) 何人かでグループをつくる。</p> <p>(4) 順位付けと理由について発表し合う。</p> <p>(5) 発表で気が付いたことをまとめる。</p>	<p>「価値観」について考えていくことを示す。</p> <p>発表後に、順位付けの作業では、自分なりの基準で判断したことを確認する。</p> <p>順位も理由も人によって違うことを確認する。</p> <p><b>他</b>他者の価値観について理解を深める。 《発表・記述》</p>
課題の追求 (15)	<p>3 「価値観」について理解する。</p> <p>(1) 「価値観」という言葉の意味の説明を聞く。</p> <p>4 価値観の形成について考える。</p> <p>(1) 価値観の形成について、自分の経験を出し合い、話し合いをする。</p> <p>(2) グループの意見をまとめる。</p> <p>(3) 意見を発表する。</p> <p>家庭でよく言われたことがもとになっている。</p> <p>学級活動や部活動で先生がよく言われたことに納得してそう考えるようになった。</p> <p>テレビドラマを見てそう感じた。</p> <p>友達と遊んでいて自然とそう考えるようになった。</p>	<p>「価値観」の言葉の意味について説明する。</p> <p>順位付けの作業では、自分なりの価値観で判断したことを確認する。</p> <p>発問「『友情が一番大切』ということは、幼少の頃からの考えですか」</p> <p>価値観は、今までの経験をもとにできてきたもので、現在急にできたものでないことを伝える。</p> <p>発表の意見をもとに、価値観の形成について説明する（価値観は周囲とのかかわりあいや社会の中で、形成されていくものである）。また、経験中ではぐくまれたものであるため、他者の価値観を尊重する必要があることを伝える。</p> <p><b>自</b>選択や生き方・在り方の基準となる自分なりの価値観について考えを深められたか。《発表・記述》</p>
課題の解決 (10)	<p>5 価値観の高まりについて考える。</p> <p>(1) しっかりと高まった価値観はどのように形成されるのか考える。</p> <p>(2) 意見を発表する。</p> <p>経験が多いほど、しっかりとした考えになると思う。</p> <p>人の意見をよく聞き、自分の考えを深めたら高まってくる。</p>	<p>価値観が明確になっているようで、思いこみや強い思い入れによって狭い価値観を形成している場合もあることを伝える。</p> <p>発表の意見をもとに、他者の様々な考え方の違いに触れ、それを尊重しながら自己の価値観と対比させ、自己の価値観を高めていくことが重要であることを伝える。</p> <p><b>他</b>自己理解を進める上での、他者の価値観に触れる重要性について理解できたか。《発表・記述》</p>
総括 (10)	<p>6 まとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返って、分かったことや感想をまとめる。</p> <p>(2) 先生の話聞く。</p>	<p>今後の生活の中で他者の価値観を知り、それを尊重しながら自己の価値観を高めていくことが重要であることを伝える。</p>

\* **他**：他者理解能力      **自**：自己理解能力

その他

この授業後に、講演会や話し合いなどで、他者の価値観に触れる機会を設定すると効果的である。

## 「価値観」て何？

番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

1 次の7つを、これから生きていく上で大切にしたいものから順位を付けてみよう。

友情   愛情   名誉   正義   富   奉仕   夢

順位		左のように順位をつけた理由
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

2 順位をつけた理由の発表の中で、気付いたことや感じたことをまとめよう。

3 「価値観」についてまとめよう。

4 自分の価値観がどのように育ってきたのか，経験を出し合いながら，価値観の形成についてグループの意見をまとめよう。

5 しっかりとした価値観を形成するには，どのようなことが必要でしょうか。

6 授業を振り返って，分かったことや感じたことをまとめよう。

## 将来の自分のために

過去の学校生活を振り返りながら，自分の将来のために目標を持って学校生活を送ることが大切なことを理解させる。また今の学校生活を充実させることが大切なことを理解させる。

将来設計能力	過去の生活を振り返りながら，自分の将来のために，今の学校生活を充実させることが大切なことを理解できるようにする。また学校生活を充実したものにするために必要な観点を理解できるようにする。
自己理解能力	他者の考えを知り，自分の考えを深められるようにする。
他者理解能力	他者の将来に対する考え方について，理解を深められるようにする。

### 授業のポイント

この授業は，主にホームルーム活動の活動内容「ホームルームや学校の生活の充実と向上に関すること」および「学業生活の充実，将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること」とにかかわるものである。主に学校生活の充実・向上や主体的な学習態度の確立をねらいとしている。特に将来の自分を見据えながら，今後の学校生活の課題や目標を考える活動を通し，キャリア発達を促す活動である。本題材では，生徒自身が今までに取り組んできたことが，そのまま積み重なって将来の自分に役に立つことを再認識させるとともに，入学して間もないこの時期に，将来についての考えを深め，自己を高める意欲を引き出しながら，学校生活の充実を図れるようにしていきたい。またグループ活動を通して，お互いの意見を出し合いながら，自己理解と他者理解を深めていきたい。

#### 《指導上の留意点》

- (1) 中学校生活の振り返りについては，その生活に肯定感を十分にもてない生徒も存在すると考えられる。「頑張ったこと」を挙げるのではなく，「よく取り組んだこと」を挙げさせたい。
- (2) 中学校時代によく取り組んだことの中には，将来の自分にとって必要な要素が必ず存在していることを認識させたい。それにより，中学校の生活に肯定感をもたせ，今後の学校生活への意欲を引き出していきたい。
- (3) 自分のやりたいことを実現するには相応の準備が必要なことや，日ごろの活動の積み重ねが，将来の自分の力になることを認識させるとき，できるだけ具体的な事実（経験）を示したい。特に担当者の中学校や高校時代の教訓に基づいて参考になる話をしてほしい。

準備物 ワークシート

学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点
課題の意識化(5)	<p>1 本時の活動のねらい，学習方法を確認する。</p> <p>過去の学校生活を振り返りながら，これからの学校生活で大切なことを考えていく。</p>	<p>真剣にしかも和やかに取り組めるような雰囲気をつくっていく。</p> <p>目標をもって学校で生活することが大事である，ということを確認する。</p>
課題の追求(20)	<p>2 中学校生活の振り返りをする。</p> <p>(1) 中学生のときに，学校でよく取り組んだことを箇条書きでリストアップする。</p> <p>(2) 箇条書きで書いたことについて，10年先の自分にとって，特に重要だと思われることを3つ選んで，その理由を書く。</p> <p>(3) グループの中で理由を発表しあい，重要であると思ったことをまとめ，その中からいくつかを全体に発表する。</p> <p>(4) 全体発表で，重要だと思ったことをまとめる。</p>	<p>1つの項目だけでなく，多くの項目の行動が出るようにする。</p> <p>「頑張ったこと」でなく，「よく取り組んだこと」でよいことを指示する。</p> <p>10年先の具体的な将来の夢を，意識できるようにする。</p> <p>4～6人のグループを作る。</p> <p>他者の意見もよく聞きながら，理解を深められるようにする。</p> <p><b>自</b>他者の考えを知り，自分の考えを深められたか。《記述》</p> <p><b>他</b>他者の将来に対する考え方について，理解を深められたか。《記述》</p>
課題の解決(20)	<p>3 将来のために学校生活の充実が必要なることを認識する</p> <p>(1) 学校生活の充実が，将来のために大切なことを理解する。</p> <p>(2) 自分のやりたいことを実現するには相応の準備が必要なこと，また日ごろの活動の積み重ねが，将来の自分の力になることを認識する。</p> <p>(3) 将来の自分のために，新たに分かったことや，自分の考えが深まったことをまとめる。</p>	<p>学校生活の多くの部分で，将来に役立つ視点があることを，確認できるようにする。</p> <p>例を出しながら，相応の準備の必要性や，活動の積み重ねの重要性について説明するとともに，今までの活動にその要素が入っていることを確認できるようにする。</p> <p>これからの学校生活に課題を設定して，目標をもつことが重要であることを確認できるようにする。</p> <p><b>将</b>自分の将来のために，今の学校生活を充実させることが大切なことを理解できたか。また，学校生活を充実したものにするために必要な観点を理解できたか。《記述》</p>
総括(5)	<p>4 本時の内容を振り返り，自己評価をする。</p>	<p>今日得た視点を，今後の学校生活に生かすように助言する。</p>

\* **将**：将来設計能力    **自**：自己理解能力    **他**：他者理解能力

## 将来の自分のために ワークシート

番号 \_\_\_\_\_ 氏名

中学校でよく取り組んだことについて書き出してみよう。

教科の勉強について
ホームルーム活動について
放課後の活動について（委員会・部活等）
その他



10年後の自分にとって特に重要なことは何か、3つ選びその理由を書いてみよう。

重要なこと	理由

グループ内の発表の中で，重要だと思ったことを書き出そう。

全体の発表の中で，重要だと思ったことを書き出そう。

将来の自分のために，新たに分かったことや，自分の考えが深まったことをまとめてみよう。

授業を振り返って，分かったことや感想をまとめよう